施策評価シート

1 総合計画上の位置づけ

担当課： 商工課

施策名	21 経済・雇用
政策名	「まち」に活力を生む
施策がめざす将来の姿	・市内企業の付加価値や労働生産性が高まることで、市民所得の向上や消費の拡大が促進され、地域経済が良好に循環しています。
	・雇用環境が安定し、若者や女性、高齢者など多様な人材の雇用機会が創出されています。

③ 施策評価指標

成果指標名	単位	後期当初値	令和９年度目標
Seki-Biz相談件数	件	1465	1600

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1140	1472	2,000		

成果指標名	単位	後期当初値	令和９年度目標
高校生の市内企業就職率	%	44.4	45.0

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
46.6	42.4	40.4		

成果指標名	単位	後期当初値	令和９年度目標
納税義務者一人当たり課税対象所得	千円	3,204	3,204千円以上

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
3,263	3,424	3,328		

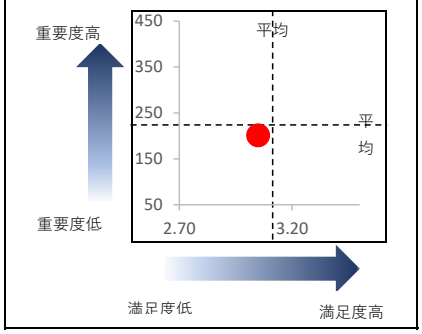
3 施策の重要度と満足度（市民アンケート調査結果）

重要度／単位（人）
令和7年度
201

満足度（満足している市民の割合）／単位（%）		
令和6年度		**令和7年度**
88.6	→	89.4

※増減（→）の基準は３ポイント以上とする

R7重要度・満足度（他の施策と比較した位置）



4 施策の課題と今後の方針

（施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。）

人口が減少し、特に中小企業においては人材確保が大きな課題となっています。
新入社員激励大会やビジネスプラス展へのバスツアーなど、市内企業への就職と定着につながる事業を引き続き実施します。また、人材不足解消の一助となるよう人材確保・副業人材マッチング支援を行います。

5 施策を構成する事務事業の今後の方向性

（右欄は、施策を構成する事務事業のうち、今後特に重点化するものに○、縮小するものに△、廃止するものに▲を付す。）

事務事業①：金融対策事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性 事業費	方向性 成果	事務事業の今後の方向性	重点化
21,072	信用保証料補給	→	→	中小企業が一定の融資を受けた場合に、支払う利子や保証料の一部を助成します。融資需要の高まりに的確に対応できるよう、事業を継続し中小企業者の資金繰り支援に努めます。	

事務事業②：就労就業支援事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性 事業費	方向性 成果	事務事業の今後の方向性	重点化
537	新入社員激励大会	→	→	市内企業へ就職した人材の定着を促進する新入社員激励大会事業を引き続き実施します。研修内容については、新入社員が企業を超えたネットワークづくりの場となるよう工夫します。	

事務事業③：就職サポートセンター事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性 事業費	方向性 成果	事務事業の今後の方向性	重点化
18,883	副業人材活用支援事業	**完了**	**完了**	人材確保が難しくなり採用コストが増大する中、市内企業を支援するため、採用活動への補助を行います。同時に、雇用に捉われない新たな人材確保策として副業人材の活用を推進し、企業の経営課題解決を多角的にサポートします。	○
	人材確保支援補助事業	↗	↗		